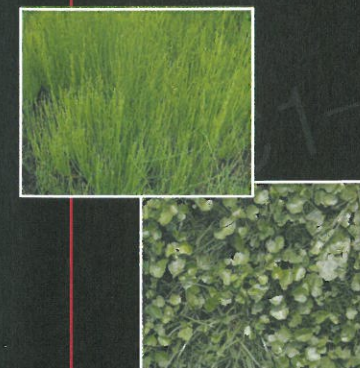


IPPONJIME



芝用茎葉処理型除草剤

一本締液剤



生育期の広葉雑草に高い効果！
難防除雑草のスギナ、チドメグサにも優れた効果を発揮します。

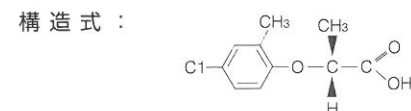
包装
1ℓ×10本

株式会社 ニッソーグリーン

®は日本曹達株式会社の登録商標です。

成分・性状

商品名：一本締液剤
種類名：メコプロップPカリウム塩液剤
有効成分：メコプロップPカリウム塩………56.5%
(R)-2-(4-クロロ-*o*-トリルオキシ)プロピオン酸カリウム
[(R)-2-(4-クロロ-*o*-トリルオキシ)プロピオン酸として48.0%]



性状：褐色澄明水溶性液体

安全性

1. 人畜毒性：普通物
急性経口毒性
ラット LD₅₀(♂・♀) 500～2,000mg/kg
急性経皮毒性
ラット LD₅₀(♂) 約4,000mg/kg・(♀) >4,000mg/kg
眼一次刺激性
ウサギ(原液) 強い刺激性あり(400倍液) 刺激性なし
皮膚刺激性
ウサギ(原液) 刺激性あり (400倍液) 刺激性なし
皮膚感受性
モルモット 感受性なし
2. 魚毒性：
コイ LC50(96hrs.) >1,000mg/l
オオミジンコ EC50(48hrs.) >1,000mg/l
藻類 ErC50(72hrs.) >1,000mg/l

*印は本剤およびメコプロップPカリウムを含む農薬の総使用回数

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たり使用量		総使用回数*	使用方法
			薬量(mℓ)	希釈水量(ℓ)		
日本芝 西洋芝 (ブルーグラス)	一年生 及び多年生 広葉雑草	春夏期 雑草生育期	200～500	200	3回以内	雑草茎葉散布
		秋冬期 雑草生育期	250～500			

効果・薬害等の注意

- 生育期の広葉雑草に有効なので、雑草の発生後茎葉に均一に散布してください。
- 散布直後の降雨は効果を減ずるので、天候を見極めてから散布してください。
- 低温時(10℃以下)の散布は、効果が劣ることがあるので、使用を避けてください。
- 本剤使用により、芝に黄変などの薬害を生ずることもありますが、やがて回復し、その後の生育に影響は見られていません。
- 重複散布をすると薬害を生じるおそれがあるので、重複散布をさけてください。
- 有用植物が付近にある場合は、かからないよう注意して散布してください。
- 使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 原液は眼に強い刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 原液は皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は、手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園・堤とう等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に、小児や、使用に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう、縄囲いや、立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない、冷涼な場所に保管してください。

空ビンには圃場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

販売元  **株式会社 ニッソーグリーン**
東京都台東区上野3-1-2(秋葉原新高第一生命ビル5F)
〒110-0005 Tel.03-5816-4351
<http://www.ns-green.com/>

製造元  **日本曹達株式会社**
本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1

取扱店

IPPONJIME

一本締液剤は、メコプロップ（MCPP）の活性本体である光学異性体メコプロップPのみを含有するもので、生育期の広葉雑草に優れた効果を示す茎葉処理タイプのホルモン型芝用除草剤です。

特長

1 広葉雑草及びスギナに優れた茎葉処理効果

生育初期から生育期の広葉雑草やスギナに優れた効果を示します。

2 広い散布適期幅

生育期の雑草が対象の散布適期幅が広い薬剤です。初春から晩秋まで散布できます。

3 雑草全体を枯死させる

植物全体の移行性に優れ、地上部・根部の全体を枯殺します。

4 芝生に対する選択性

コウライシバ・ノシバ・ブルーグラスに対して高い選択性が確認されています。

5 空容器の処分問題を軽減

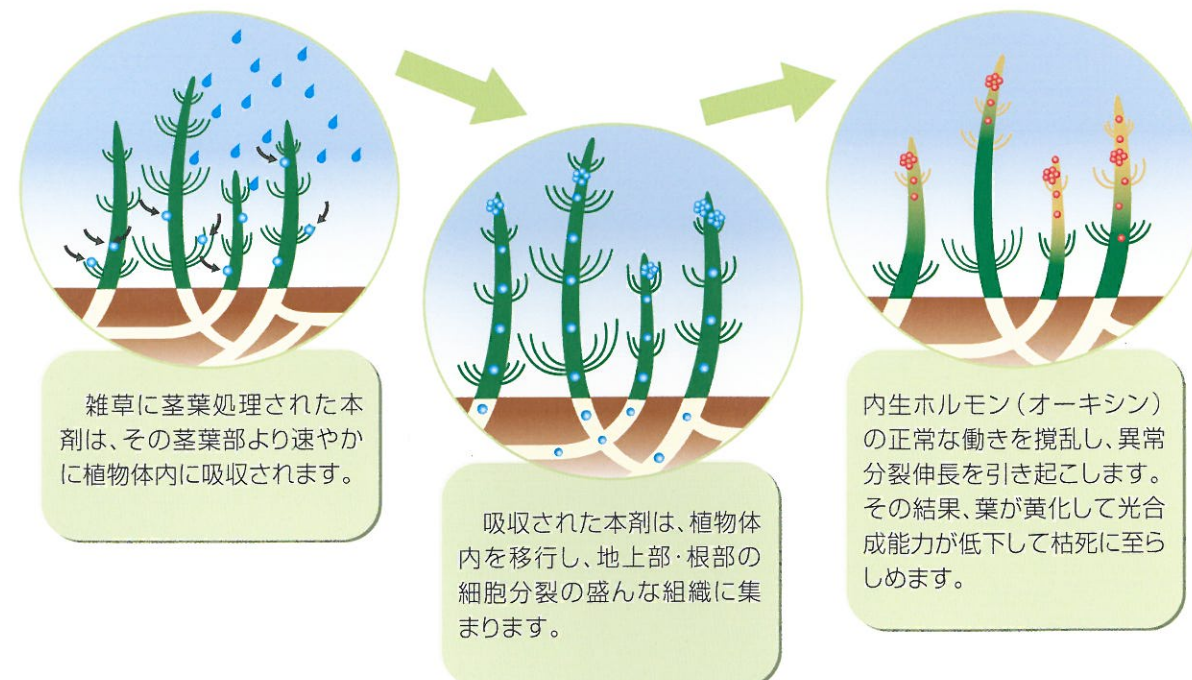
慣行薬剤と比較して少ない薬量で効果がありますので、空容器の処分量を大幅に軽減できます。

6 環境への負荷が少ない

人畜毒性は普通物、魚毒性はA類（原体）相当に分類されていますので安全性が高く、土壌中では速やかに水と二酸化炭素まで分解するので、環境に対する影響が少ないといえます。

作用機作

本剤の作用機作は2,4-DやMCPなどのフェノキシ系除草剤と同様なホルモン型（オーキシン型）吸収移行です。現在まで解明されている点は次の通りです。



殺草スペクトラム

（日植調委託試験及び社内試験から）

◎：効果高い ○：効果あり △：効果不十分 ×：効果なし

		一本締液剤		
		0.25m ² /m ²	0.375m ² /m ²	0.5m ² /m ²
キク科	オオアレチノギク	◎	◎	◎
	アレチノギク	◎	◎	◎
	ヒメムカシヨモギ	○	◎	◎
	ハルジオン	○	○～◎	◎
	ヒメジョオン	○～◎	○～◎	◎
	ノゲシ	○～◎	◎	◎
	ノボロギク	◎	◎	◎
	オニタビラコ	○	◎	◎
	ブタクサ	◎	◎	◎
	ハハコグサ	○	○	◎
	チチコグサ	◎	◎	◎
	ウラボシチチコグサ	◎	◎	◎
	タンポポ	○	○～◎	◎
	コセンダングサ	◎	◎	◎
マメ科	シロツメクサ	◎	◎	◎
	カラスノエンドウ	◎	◎	◎
	スズメノエンドウ	◎	◎	◎
	ヤハズソウ	△～○	○～◎	○～◎
オオバコ科	オオバコ	○	◎	◎
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	◎	◎	◎
	タチヌノフグリ	○	◎	◎
シソ科	ホトケノザ	○	○	◎
カタバミ科	カタバミ	△	△	△～○
アブラナ科	ナズナ	○～◎	◎	◎
	タネツケバナ	◎	◎	◎
	スカシタゴボウ	○	◎	◎
タデ科	イヌタデ	○	○	◎
	ヒメスイバ	○	◎	◎
ナデシコ科	ツメクサ	○	◎	◎
	オランダミミナグサ	◎	◎	◎
	ノミノフスマ	◎	◎	◎
	ハコベ	◎	◎	◎
ヒユ科	アオビユ	○	◎	◎
セリ科	チドメグサ	◎	◎	◎
	ノチドメ	△	○	◎
	オオチドメ	△	○	◎
スベリヒユ科	スベリヒユ	○	◎	◎
トウダイグサ科	コニシキソウ	△	△～○	○～◎
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	◎	◎	◎
	コゴメカヤツリ	◎	◎	◎
	ヒメクグ	△	△	○
	ハマスゲ	×	△	△
ツユクサ科	イボクサ	◎	◎	◎
トクサ科	スギナ	◎	◎	◎
サクラソウ科	コナスビ	○	◎	◎
アカバナ科	アレチマツヨイグサ	◎	◎	◎
ムラサキ科	キュウリグサ	◎	◎	◎
アカザ科	シロザ	◎	◎	◎

土壌中の消長

土壌中では速やかに水と二酸化炭素まで分解する、環境に対して負荷の少ない薬剤です。

土壌中半減期（圃場）：約2～3.5日

日本植物調節剤研究協会茨城土壌（火山灰軽塩土）	約2日
大阪府農林技術センター土壌（砂壤土）	約3.5日

周辺樹木に対する影響

本剤の散布液が、周辺樹木の茎葉部にかかった場合には強い薬害症状がありますので、散布の際に飛散しないよう注意してください。

※散布液を樹木の茎葉部に直接散布

	薬量0.5m ² /m ² ※	薬量1.0m ² /m ² ※
コノテガシワ（ヒノキ科）	強	強
サツキ（ツツジ科）	強	強
ツツジ（ツツジ科）	強	強
カナメモチ（バラ科）	強	強
サンゴジュ（スイカズラ科）	強	強

試験場所：日本曹達（株）小田原研究所

